

# 少年少女消防クラブフレンドシップ2012

## 防災課

去る3月26日(月)、全国の少年消防クラブ員やその指導者など約350人が、総務省の講堂に集い、「少年少女消防クラブフレンドシップ2012」が開催されました。

クラブ員である少年少女たちは、防火や防災についての知識を身近な生活の中に見出すとともに、日頃から防火・防災に関するさまざまな訓練の実施、講習会等への参加、火災予防ポスターの作成、防火パトロールや防火・防災に関する研究発表会の実施などを通じて、地域における防火・防災思想の普及に努めています。

平成23年5月1日現在、全国には約5千の少年消防クラブがあり、約43万人のクラブ員と、指導者約1万5千人が活動しています。全国少年消防クラブ運営指導協議会(会長:久保信保消防庁長官)では、クラブ員や指導者の意識高揚とクラブ活動の活性化を図り、少年消防クラブの育成発展に寄与することを目的に、昭和29年から毎年、優良少年消防クラブ及び指導者の表彰を行っています。

今回の「少年少女消防クラブフレンドシップ2012」は、第1部「表彰式」、第2部「アトラクション」という構成で実施しました。

第1部「表彰式」では、久保長官から「特に優良な少年消防クラブ」として18団体、「優良な少年消防クラブ」として35団体、「優良な少年消防クラブ指導者」として9名が表彰を受けました。その後、受賞団体を代表して熊本県の中通小学校少年消防クラブより、元気良く「お礼のことば」が述べられました。

第2部では、「都民と消防の架け橋」として演奏活動を通じて防火・防災の意識向上と協力を呼びかけている東京消防庁音楽隊による演奏が行われました。

今回「少年少女消防クラブフレンドシップ2012」に参加した皆さんをはじめ、全国の少年消防クラブの皆さんには、「自分で守ろう、みんなで守ろう」を合言葉に、一人でも多くの仲間とともに日頃の防火・防災活動にさらに励み、家庭や学校あるいは地域で、防火・防災の輪を広げていくリーダーとしての活躍が期待されています。

また、少年消防クラブ活動は、指導者の方々の熱意によって支えられているといっても過言ではありません。指導者の方々には、今後とも少年消防クラブの育成指導のほど、よろしく願いいたします。



特に優良な少年消防クラブの表彰



長官祝辞



代表謝辞